

愛媛県立
松山西高
同窓会報

Way

平成16年8月1日発行
発行所
松山西高等学校同窓会
松山市久万ノ台
印刷所
株式会社 松栄印刷所

卒業生数

12,706名

平成16年4月1日現在

「松山西高創立三十周年を振り返って」



校長

宇都宮 博 晶

昨年度は、本校にとって、実にすばらしい、充実した年となりました。平成十五年度は、松山西高創立三十周年の年であると同時に、県立中高一貫教育のスタートの年でもあったのです。「心、つながる三十年——」新たな風と変わる下、高校生と中学生、そして同窓生と教職員・PTAが心を一つにして、様々な記念行事を企画・実施し、見事

な成果を収めることができました。これもひとえに、同窓生の皆様方の物心両面における力強い御支援のお陰によるものであり、ここに改めまして、心から御礼申し上げます。例えば、平成十四年度は、次年度の県立中高一貫教育導入のための準備に追われる毎日でした。平成十五年度に創立三十周年を迎えることを十分承知しながら、正直、一人一人の教職員の気持ちは、本

県で初めての県立中高一貫教育スタートのことで頭は一杯であったように思います。校内の開設準備委員会を中心に教育課程、総合的な学習の時間、制服等の各検討委員会を設置し、次年度の中高一貫教育スタートの準備に専念していたのです。

そういう中で、創立三十周年を、生徒一人一人の思い出に残るものにしたと敢然と立ち上がってくれたのが、本校の同窓教職員でした。すべての生徒が自分たちの手作りの記念行事だという思いを持ってるようにと、様々な生徒の参加企画を工夫してくれました。その一つが、全校生徒に対する記念テーマの大募集でした。生徒・教員による第一次・第二次選考を経て、全校

生徒・教職員の投票で記念テーマを決定していったのです。「心、つながる三十年——」新たな風と変わらぬ思い——は、すべての生徒と教職員の本校に対する熱い思いが結集されたものでした。全国各地の周年行事情報を収集するインターネット検索隊、マスコットキャラクター創造させ隊及び名前つけ隊の設置等により、全校生徒の周年行事への興味・関心は、いやが上にも高まっていったので

「思い出あれこれ」



松山西高等学校同窓会会長

伊賀上 竜 也

す。松山西中高生にとって、今回の三十周年記念行事は、心に残るすばらしいものになりました。また、本校生徒・教職員・同窓生をはじめ、本校ゆがりの人たちの「確かな心のつながり」を実感することができ、大変うれしく思っております。

同窓生の皆様には、中高一貫校としてさらなる進化を目指す本校を、引き続き御支援いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

平成十五年十月十三日、一年間を掛けた愛媛県立松山西高等学校創立三十周年記念事業が終了致しました。

今、改めて思い返してみますと、昭和六十年に同窓会のお世話をなにかば強引に押し付

けられてから、あつと言う間の二十年が過ぎていました。時代は昭和から平成へと変わり、母校である松山西高校でも二回の周年事業を経験させて頂きました。就任五年目でもあり、やるぞ、やるぞの勢

いで迎えた創立二十周年の記念事業。年齢もまだ三十代で回りをあまり見る余裕もない中で、当時の校長であった片岡先生、事務長の橋本さん、また影に日向に手助けを頂いた西友会の仙波会長を始め、多くの関係の皆様が助けて頂き何とか無事に終了することが出来ました。

その思い出の周年事業から学んだ反省点は、もつと同窓会が中心になって周年事業を運営しなければならぬ、口だけを出して何も出来ないのではなく、運営から資金の面まですべてをリード出来る体制を一日も早く作り上げなければならぬ、ということでした。

運良く橋本事務長や当時の岡田PTA会長さん達の知恵と力をお借りでき、同窓会の終身会費制度を認めて頂きました。このお陰で同窓会は基本財源を確保でき、周年事業積立金と言う名称で十年後の創立三十周年事業を運営する目標が出来たのであります。

創立十周年では弓道場を寄贈し、二十周年では後輩の躍進に期待を込めて「未来に翔ける」のテーマの下でモミュメントを作成しました。そしていよいよ創立三十周年事業の時がやってきました。

さて、今回の記念事業は何をやろうかと話し始めたのは、一年以上も前の平成十四年の同窓会総会の季節でした。多くの皆様にご意見を頂いて一年間かけて検討した結果、決定したのは現在二十周年のモミュメントと並んで設置してある校歌碑でした。創立三十周年のテーマでもある「心、つながる三十年——新たな風と変わらぬ思い——」に沿って、過去の思い出や出来事を、県立中学校を併設した記念すべき年に、多くの後輩に伝え、更に新たな風を吹き込んでもらうために作成しました。多くの後輩諸君が校庭で憩いの時間を過ごす中で、過去を知り未来の目標を見つける一助になれば幸いです。

このように幸いで実施した今回の三十周年記念事業も、やっぱり宇都宮校長先生をはじめ多くの皆さんにご苦勞をかけてしまいました。特に事務局であった磯崎、伊豫田両先生には本当にご苦勞をかけた。このお二人の惜しまぬ努力が、三十周年を無事に迎えられた原動力であったと改めて御礼を申し上げます。

種々、思いつくまま回想記のような形になってしまいました。したが、今回の題目である「思い出あれこれ」とは、十年前にお元氣であった初代清家敏雄校長先生が二十周年記念誌に寄稿された題目です。ふと十年、二十年、三十年の記念誌を読み返してみても、やはり私には一番思い出に残っている先生であつただけに、同じ題目で是非寄稿してみたいとの思いから、依頼された題目ではない方向になってしまいました。

出来の悪い我々を先生は本当に温かい眼差しで見守って頂きました。卒業式の日校長室に呼んで頂き、お茶を飲みながら無事に卒業を迎えたことを一緒に喜んで頂けました。残念ながら感謝の言葉さえ申し上げる機会を無くしてしまいました。残された教え子である我々松山西高校同窓生は、先生の情熱や優しさを忘れることなく母校と一緒に歩んで行きたいと思っています。

ありがとう、西高！



九期生

磯崎 文博

現役の生徒として三年、そして教員として十年、合わせて十三年間、母校にお世話になりました。教員としての二十六年から三十七歳までの日々は、私の人生そのものを誇らしく照らす「青春の思い出」ばかりと感じています。

そこには多くの素晴らしい生徒との出会いと、先輩の先生方からの様々な教えに励まされ、奮闘していた自分がいた

ように思います。

さて、昨年母校は創立三十周年という節目を迎えました。そんな歴史的な場面に居合わせた私には、幸運にもお世話になった母校に恩返しができる役目をいただきました。それは創立三十周年記念事業委員会事務局（同窓会事務局）という大役です。県下初の中高一貫教育の初年度、つまり高校生ばかりではなく

中学生とともに実施していく記念行事を、どのような内容で企画準備し、実行していけばよいのかと思うと、全身が震えたものです。

また、「松山西高等学校という看板」で実施できる最後の記念行事という思いへのこだわりもありました。だからこそ、先輩諸氏、更には後輩たち一万二千名を超える同級生が「師弟同行」のもとで培ってきた「伝統」の素晴らしさを、在校生に、そして未来に受け継いでいってもらえるような記念の年を創造したいという思いに駆られたのです。

そして、「かかわる・楽しむ・広げる」(記念行事には誰もが「かかわる」、そして「楽しむ」)。記念行事は西高・西中に在籍する者の心の輪を「広げる」ことができるように構成する。)を企画・運営の基本コンセプトに設定し、与えられた大役を果たすべく、精一杯の日々を過ごしていたように思います。もちろん頼れる同窓生教員の活躍も記念行事を支えていました。ご紹介す

ると事務局員として抜群の才覚を発揮してくれた伊豫田孝幸(十期)氏、対高知明德義塾の接戦を指揮した渡部勇樹(十期)氏、膨大な過去の記録写真の整理に奮闘してくれた近藤梓(二十期)氏、更には、縁の下の力持ちをかつけてくれた吉良直起(十期)氏、友澤浩司(九期)氏、中村りか(二十期)氏、山竹美加子(十五期)氏、仲原理恵(十七期)氏の面々です。そして本番の各種の記念行事では宇都宮校長先生をはじめとした先生方はもとより、西高・西中の生徒のそれぞれが、時には主役として、あるいは脇を固めるべく自らの才能を遺憾なく発揮して参加していたように思います。

さて、大役を終えた今は、これから後に続く西高・西中の後輩たちが『陽光輝く学舎』で切磋琢磨し、そして未来に続く『一筋の道』を切り拓き、『若き眸』を輝かせ、次なる十年、そして二十年と「中高一貫校」として進化していく母校の礎」を、あたかも中庭の池

の「西高亀」の如く根気強く築いていって欲しいと願うばかりです。

最後になりましたが、同窓生の皆様、ぜひ「同窓生の集い(総会)」にご参集ください。期日は、同窓会会則の規定により毎年八月の第二土曜日とされています。開催が近づけば愛媛新聞等に案内広告も掲載される予定です。今も昔も変わらぬ西高、懐かしい母校の話題を、ともに集い、語りつくそうではありませんか。二年間という短い間でしたが同窓会事務局を預かった者として心からお願ひ申し上げます。



平成15年度 転退職者

教科	職名	氏名	勤務期間	備考
理事	教務部長	玉井 紀夫	H12.4~H16.3	4年 退職
国語	副参事	山田 喬	H12.4~H16.3	4年 退職
"	教諭	山根 賢志	H 7.4~H16.3	9年 小松高校
"	"	平塚 ゆかり	H13.4~H16.3	3年 松山盲学校
地歴・公民	"	野上 完治	H10.4~H16.3	6年 宇和島水産高校
"	"	日下 賀喜	H13.4~H16.3	3年 新居浜西高校
"	"	井上 博志	H13.4~H16.3	3年 第三養護学校
"	"	磯崎 文博	H 6.4~H16.3	10年 教育センター
数学科	"	土井 英明	H10.4~H16.3	6年 今治南高校
理科	"	川口 洋	H11.4~H16.3	5年 県立今治東中学校
"	"	渡部 勇樹	H 9.4~H16.3	7年 伊予高校
英語	"	徳永 晴樹	H11.4~H16.3	5年 三崎高校
"	"	芳野 勅使雄	H 6.4~H16.3	10年 北条高校
事務	専門員	山本 紀子	H11.4~H16.3	5年 第一養護学校
"	主任	高市 直樹	H12.4~H16.3	4年 県庁保健スポーツ課
"	主任業務員	竹内 裕二	H 8.4~H16.3	8年 松山盲学校
数家庭	講師	中村 りか	H15.4~H16.3	1年 松山工業高校
理科学	教諭	近藤 梓	H15.4~H16.3	1年 野村高校
中	学校栄養士	藤岡 秀人	H13.4~H16.3	3年 重信中学校
		後藤 純子	H15.4~H16.3	1年 松山市教委

平成15・16年度 部活動の主な成績

【運動部】

部名	平成15年度愛媛県高等学校新人大会の結果	平成16年度愛媛県高等学校新人大会の結果
テニス	男 (団体) 地区予選敗退 (個人ダブルス) 1組出場	(団体) 2回戦 松西3-0今工 3回戦 松西0-2松北 (ベスト16)
	女 地区予選敗退	(団体) 1回戦 松西0-3北宇和
ソフトテニス	男 (団体) 1回戦 松西1-2南宇和 (団体) 準々決勝 松西0-2新西 【ベスト8】	(団体) 1回戦 松西1-2西条 (個人) ダブルス1組
	女 地区予選敗退	(団体) 1回戦 松西2-1今西 2回戦 松西0-2今北 (ベスト16)
卓球	男 地区予選敗退	(団体) 1回戦 松西1-3松北
	女 (団体) 1回戦 松西1-3川之石 (個人) シングルス1名2回戦進出	(団体) 1回戦 松西3-1八幡浜 2回戦 松西1-3新東 (ベスト16) (個人) ダブルス2組 岩城・井村 (ベスト16) シングルス 井上 (ベスト8・四国大会出場)
バレーボール	男 地区予選敗退	地区予選敗退
	女 地区予選敗退	地区予選敗退
バスケットボール	男 (1回戦) 松西73-51宇和 (準々決勝) 松西56-78松工 【ベスト8】	(1回戦) 松西110-30宇東 (2回戦) 松西104-59今工 (3回戦) 松西83-46松北 (準決勝) 松西85-72城南 (決勝) 松西69-101新田 準優勝 (四国大会出場)
	女 地区予選敗退	地区予選敗退
ハンドボール	男 (2回戦) 松西19-12新工 (準決勝) 松西16-15今西 (決勝) 松西10-24松東 【準優勝】	(2回戦) 松西32-16伊予 (準々決勝) 松西23-20松南 (準決勝) 松西10-24今西 (第3位)
	女 地区予選敗退	(1回戦) 松西7-25今南
バドミントン	男 (団体) 1回戦 松西1-3西農	(団体) 1回戦 松西0-3西条
	女 (団体) 松西1-3東雲	(団体) 1回戦 松西3-1今北 2回戦 松西0-3新西
ラグビー	(15人制) 1回戦 松西(中予連合)34-3東予連合 2回戦 松西(中予連合)0-24松工 (7人制) 予選リーグ 松西・北条連合7-38聖陵 松西・北条連合12-22松北 松西・北条連合7-20愛光	(予選リーグ) 松西0-44松東 松西0-24北条 松西0-52三島 松西36-5吉田
陸上競技	男 400mH 佐伯6位	400mハードル 佐伯7位(60"15) 8種競技 大上10位(3626点)
	女 砲丸投げ 1名予選落選	
ダンス	「心を込めて踊りたい」 【4位】 ☆第16回全日本高校・大学ダンスフェスティバル 【審査員賞】	テーマ「削除しますか？」 優勝(7年連続16度目)
剣道	男 (団体) 1回戦 松西0-4宇南	(団体) 1回戦 松西4-0西農 2回戦 松西0-5丹原
	女	地区予選敗退
柔道	男 (個人) 60kg級 石橋 【ベスト16】 (個人) 100kg超級 斉藤出場	(団体) 2回戦 松西2-2新居浜工専 (個人) 2名 (内容負け)
	女 (団体) 1回戦 松西1-2今工 (個人) 無差別 定成出場 ☆全国高校柔道選手権大会愛媛県大会 (個人) 78kg超級 定成 優勝 【全国大会出場】	(団体) 松西1-2東温 (個人) 2名 78kg超級 定成 優勝 (全国・四国大会出場)

弓道	男	地区予選敗退	地区予選敗退
	女	(団体) 予選落選 (個人) 浅田 1位	地区予選敗退
サッカー		地区予選敗退	1回戦 松西2-0宇南 2回戦 松西0-1東予 (ベスト16)
水泳	男	6名出場	2名出場
	女	50m自由形 石丸 1位 200m個人メドレー 石丸 3位 200mリレー 4位 400mリレー 3位 400mメドレーリレー 4位	50m自由形 石丸 3位 (四国大会出場) 100m背泳ぎ 石丸 2位 (四国大会出場) 100mバタフライ 坂野 8位 (四国大会出場) 200m自由形 松本 8位 (四国大会出場) 200mバタフライ 坂野 7位 (四国大会出場) 200mバタフライ 風本 8位 (四国大会出場) 800m自由形 中下 8位 (四国大会出場) 400mリレー (石丸・松本・辻田・布) 3位 (四国大会出場) 400mメドレーリレー (石丸・風本・坂野・布) 6位 (四国大会出場)

バスケットボール (男) 『第57回四国高等学校バスケットボール選手権大会』
1回戦 松西84-85尽誠学園 (香川)

柔道 (女) 『第53回四国高等学校柔道選手権大会』
(個人) 1回戦 定成 (松西) 一本勝ち 河原 (高知)
2回戦 定成 (松西) 一本負け 船越 (香川)
3位決定戦 定成 (松西) 一本勝ち 村佐 (愛媛) 3位

弓道 (女) 『国体2次予選』 永井 最終選考会へ出場

部名	全国高等学校野球選手権愛媛大会
野球	(1回戦) 松西7-8弓削商船

【文化 部】

部名	活動内容・成績等について
放送	第42回愛媛県高等学校放送コンテスト 朗読部門 最優秀 西田 沙織 アナウンス部門 優良 石田 真理 ラジオドキュメント部門 最優秀 【第50回NHK杯全国高校放送コンテスト出場】
吹奏部	第51回全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会 高校A部門 金賞 【6年連続金賞 6年連続四国大会出場】 第51回全日本吹奏楽コンクール四国支部大会 高校A部門 金賞 【5年連続金賞】
書道	第27回全国高等学校総合文化祭出場 書道部門 文化連盟賞 田中 多恵 第17回愛媛県高等学校総合文化祭 書道部門 奨励賞 江戸 幸子 第42回愛媛県学生書道展 松山市市議会議長賞 江戸 幸子
写真	第17回愛媛県高等学校総合文化祭 写真部門 奨励賞 須賀由梨菜 第16回愛媛県高等学校文化連盟写真展 奨励賞 伊藤 有未・宇和川 葵・大森 麻衣・須賀由梨菜
美術	第17回愛媛県高等学校総合文化祭美術・工芸部門 奨励賞 伊藤 大展
演劇	第17回愛媛県高等学校総合文化祭 演劇専門部発表会 出場

ご注意ください!!

最近、同窓会と関係のないところが同窓会を名乗り、電話で住所などを聞き出すことがあるようです。同窓会では電話での連絡は基本的に行っていないので、ご注意ください。

また、同窓会名簿を悪用しての悪質な勧誘などがあるようです。同窓会名簿は基本的には、同窓会員だけに販売するようにしているのですが、やはりどこかで情報が漏れるようで、どのように対処すればよいか事務局としても頭を悩ませているところです。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

平成15年度松山西高校同窓会会計決算書

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	摘 要
繰 越 金	1,439,492	1,439,492	0	前年度より繰越
会 費	140,000	140,000	0	@500*280名(1年生)
	317,000	317,000		@1000*317名(2年生)
	380,000	380,000		@1000*380名(3年生)
終 身 会 費	3,800,000	3,800,000	0	@10,000*380名(3年生)
雑 収 入	508	42	466	預金利息
合 計	6,077,000	6,076,534	466	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	摘 要
会 議 費	650,000	349,500	300,500	総会・役員会補助
事 業 費	350,000	70,950	279,050	会報発行、研修費補助
卒 業 記 念 品 費	100,000	79,800	20,200	卒業証書用丸筒
育英基金補助	1,000,000	1,000,000	0	西高体育・文化育英基金
渉 外 接 待 費	100,000	53,000	47,000	謝礼等
通 信 運 搬 費	500,000	288,705	211,295	郵送料、新聞広告等
印 刷 製 本 費	350,000	140,899	209,101	総会案内状印刷等
事 務 費	50,000	30,593	19,407	事務関係諸費
慶 弔 費	50,000	10,000	40,000	慶弔費
積 立 金	2,500,000	2,500,000	0	周年行事等積立金
予 備 費	427,000	196,000	231,000	転退職者餞別等
合 計	6,077,000	4,719,447	1,357,553	

収入総額	支出総額	差引残額
6,076,534	4,719,447	1,357,087

平成16年度松山西高校同窓会会計予算書

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
繰 越 金	1,357,087	1,439,492	△ 82,405	前年度より繰越
会 費	100,000	140,000	△ 154,000	@500*200名(1年生)
	275,000	317,000		@1000*275名(2年生)
	308,000	380,000		@1000*308名(3年生)
終 身 会 費	3,080,000	3,800,000	△ 720,000	@10,000*308名(3年生)
雑 収 入	913	508	405	預金利息
合 計	5,121,000	6,077,000	△ 956,000	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
会 議 費	550,000	650,000	△ 100,000	総会・役員会補助
事 業 費	250,000	350,000	△ 100,000	会報発行、研修費補助
卒 業 記 念 品 費	80,000	100,000	△ 20,000	卒業証書用丸筒
育英基金補助	1,000,000	1,000,000	0	西高体育・文化育英基金
渉 外 接 待 費	100,000	100,000	0	謝礼等
通 信 運 搬 費	400,000	500,000	△ 100,000	郵送料、新聞広告等
印 刷 製 本 費	250,000	350,000	△ 100,000	総会案内状印刷等
事 務 費	50,000	50,000	0	事務関係諸費
慶 弔 費	50,000	50,000	0	慶弔費
積 立 金	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	周年行事等積立金
予 備 費	391,000	427,000	△ 36,000	転退職者餞別等
合 計	5,121,000	6,077,000	△ 956,000	

収入総額	支出総額	差引残額
5,121,000	5,121,000	0